

## SR-M50AP1 V03.08 変更内容一覧

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V03.00～V03.06	無線LANインタフェースの定義を変更してcommit時、システムダウンする場合がある。
2	V03.00～V03.06	ファームウェア更新後、再起動する前にシステムダウンが発生すると、その後リブートを繰り返す場合がある。
3	V03.00～V03.06	端末が接続する無線LANインターフェースとは別の無線LANインターフェースを動的変更時、deathではなく、disassocが送信される。
4	V03.00～V03.06	PSK接続時、assoc.resp受信後にEAPOL StartやEAPOL Logoffを受信すると再接続や、端末切断が発生する。
5	V03.00～V03.06	高速転送モード有効時、有線から入力したVLAN Tag付パケットのCosが0以外の場合、無線に中継できない場合や、[00000080:00000004]でシステムダウンする場合がある。
6	V03.03～V03.06	認証自動切替にてmasterとbackupが同一の無線LANモジュールであるとmasterに接続していた端末が切替後にbackupに接続する場合、接続が失敗する。
7	V03.00～V03.06	5Gの無線インタフェースをoffline後、onlineしても送受信停止監視処理が停止したままとなる。
8	V03.00～V03.06	高速転送モード有効時、有線から入力したVLAN Tag付フレームのCFIが1でも無線に中継する。